

Culture
文化に
恋する
おぢや



動画はこちら



片貝花火

片貝の人々が成人や還暦を祝い、浅原神社へ奉納して打ち上げる片貝花火は「山の片貝」と称され、「海の柏崎」、「川の長岡」と並び越後三大花火のひとつとして知られます。小千谷の秋の夜空に咲く大輪の花、フィナーレに打ち上げられる四尺玉は世界最大級で圧巻！県内外から訪れる観衆を魅了します。

History
歴史に
恋する
おぢや



動画はこちら



小千谷縮

越後の麻布は、江戸時代に将軍への献上品とされた逸品。この頃、緯糸(よこいと)に強い撚(よ)りをかけ「しば」というシワを出す、独特のシャリ感が特徴の「小千谷縮」が誕生。手作業の優れた工芸技術は、国の重要無形文化財に指定され、ユネスコ無形文化遺産にも登録されています。

花火と職人の町片貝 モニュメント



☞ 小千谷市片貝町
「花火と職人の町片貝 モニュメント」でナビ検索)

花火のまち片貝のシンボル

実物大の煙火筒は圧巻のスケール感

「三尺玉発祥の地」片貝を象徴するモニュメントは24時間見学OK! 尺玉、二尺、三尺、四尺の筒が勢揃い。重量約420kgの四尺玉の打ち上げに用いる煙火筒は高さ5.2m、厚さ1.8cmの鋼鉄製で、とりわけ目を引きま。花火とモニュメントを一枚の写真に収める、インスタ映えを狙ってみては。

司馬遼太郎「峠」
文学碑



文学碑の表と裏には河井継之助の生き様を小説「峠」で描いた、司馬遼太郎の直筆が刻まれています。「峠」は令和4年に映画化されました。

☞ 小千谷市高梨町 越の大橋西詰

小千谷の歴史と繁栄を伝える
三階建ての老舗割烹

江戸時代から続く割烹で、建物は国の登録有形文化財。河井継之助が慈眼寺で和平交渉(小千谷談判)決裂後、遅めの昼食をとったとされる「梅の間」は、今も大切に保存されています。



東忠

☞ 小千谷市元町11-11

誰もが学べる教育の実現のために
「日本初の公立小学校」が開校

小千谷の縮商人の家に生まれた山本比呂伎は、子どもの教育の重要性と誰もが学べることを訴えて奔走。私財を投げ打ち五智院に、日本で最初の公立小学校「振徳館」(現在の小千谷小学校)を開校しました。



五智院

☞ 小千谷市元町14-7

日本のお祭りは世界一ですよ。人の活気、文化や歴史を感じます。毎年、片貝花火には足を運びます。あの迫力と美しさは素晴らしいです!



フィリピンから移住
吉田 ロエル さん

涼感と風合いが心地いい麻織物

体験も購入もできる「小千谷織物工房」

小千谷市総合産業会館サンプラザ1階にある「織之座」では、小千谷縮の展示や機織りの実演が見られ、コースター織り(有料)の体験もできます。2階の「匠之座」では、織物で制作した雑貨、トレンドを取り入れたアパレル、インテリアなどが豊富に揃い、購入することができます。

小千谷織物工房



☞ 小千谷市城内1-8-25(サンプラザ内)

名誉市民

掲載 昭和39年7月28日

商才を生かして新潟県の発展に貢献

西脇 濟三郎

明治13年～昭和37年



公共事業に多額の寄附を行い、さらに育英資金を出資して人材の養成に尽力。県内の産業・教育の発展に寄与しました。

英文学者にして偉大なる詩人

西脇 順三郎

明治27年～昭和57年



処女詩集「Ambarvalia (アムバルヴァリア)」や「旅人かへらず」などの作品で、現代詩壇に大きな影響を与えました。

掲載 昭和44年11月18日

昭和の森林経営学の権威

佐藤 弥太郎

明治22年～昭和46年



天然力を活用して森林の再生(更新)を図る「森林の天然更新技術」に関する調査・研究を行い、森林経営学をけん引しました。

硬骨のバンカーにして大の野球好き

金子 鋭

明治33年～昭和57年



日本の経済・文化・スポーツの発展に寄与しました。白山運動公園内の野球場近くに胸像が建立されています。

なめらかな喉越しとコシの強さが人気
織物のまちが生んだ名物



へぎそばは、つなぎに「布海苔(ふのり)」という海藻を使用。小千谷縮を織る際に糸の糊付けに使っていたもので、織物のまちならではの「へぎ」は四角い板状の器に由来しています。

シミがある小千谷縮を雪ざらしにしたら、とっても綺麗になってビックリしました! 布海苔をつかったへぎそばもそうですが、先人の知恵が息づいていると思います。



東京都から移住
清野 憂 さん